

令和2年度使用小・中学校用教科用図書

採択理由書

令和元年 7月18日

都城市教育委員会

令和2年度使用小・中学校用教科用図書について

令和2年度使用の小・中学校用教科用図書については、令和元年5月29日付宮崎県教科用図書採択審議会発「令和元年度 答申」により、次のように通知されている。

(1) 採択について

(本年度の採択)

ア 小学校用の教科用図書については、以下の(2)から(4)の内容に留意して、全ての教科用図書について新たに採択を行うこと。

中学校用の教科用図書については、道徳科を除く教科の採択替えを行う年であるため、適切に採択を行うこと。その際、平成30年度検定において、新たに合格した教科用図書がなかったことから、研究資料の作成については、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度採択における調査研究の内容等を活用すること。道徳科については、平成30年度に採択したのと同じ教科用図書を採択すること。

(次年度以降の採択に向けての計画的な準備等)

イ 県教育委員会は、各採択地区協議会に対して、今後の教科用図書採択の予定について周知するとともに、積極的に情報収集・提供に努めること。

また、各採択地区協議会は、特に、次年度採択替えが行われる中学校用教科用図書の採択に向け、計画的に準備を進めること。

(2) 採択の基準について

(小学校)

ア 教育基本法、学校教育法に基づき公示された小学校学習指導要領に示されている各教科等の目標を十分達成できるものであり、児童の発達の段階に応じた指導を行うために、系統的に編集されているものであること。

イ 教材の内容等が充実しており、各教科等で身に付けさせたい資質・能力を育成するための指導の充実につながるものであること。

ウ 指導者及び児童にとって、使用上の利便性があり、児童にとって分かりやすいものであること。

エ 地域の願いや思い、児童の実態等を考慮すること。

(中学校)

ア 教育基本法、学校教育法に基づき公示された中学校学習指導要領に示されている各教科の目標を十分達成できるものであり、生徒の発達の段階に応じた指導を行うために、系統的に編集されているものであること。

イ 教材の内容等が充実しており、個に応じた指導に対応できるなど指導の充実につながるものであること。

ウ 指導者及び生徒にとって、使用上の利便性があるとともに、生徒にとって分かりやすいものであること。

エ 地域の教育の特色や、生徒の実態等を考慮すること。

(3) 研究資料の作成について

(小学校)

研究資料の作成については、以下の内容に留意すること。

- ア 研究資料は、種目ごとに作成すること。
- イ 種目は次の13種目とすること。
国語、書写、社会、地図、算数、理科、生活、音楽、図画工作、家庭、保健、
外国語、道徳科
- ウ 研究資料は、小学校用教科書目録に登載され、かつ見本本として送付された全ての教科用図書について作成すること。
- エ 教科用図書の調査研究を行うに当たっては、明確な観点を定めて行うこと。
- オ 調査研究の観点としては、教科等の目標の達成及び単元（題材）や教材の構成・配列等、内容や指導の充実、利便性の向上等の角度からこれを定めること。
- カ 調査研究の資料は、観点ごとに特徴を簡潔に記述し、採択に当たっての参考となるものであること。

(中学校)

本答申の1(1)アに準ずる。

(4) 採択の方式について

- ア 採択地区内の各市町村教育委員会は、採択地区協議会を必ず設けること。
- イ 採択地区協議会には、教科用図書の研究のために「専門委員」を置くこと。
- ウ 「専門委員」は、県教育委員会が作成した研究資料等を活用して、各種目ごとに、採択の基準に基づき教科用図書の研究を行い、採択地区協議会に報告すること。
- エ 採択地区協議会は、小学校において、県教育委員会の作成した研究資料等を参考に
にするほか、採択地区協議会に置いた専門委員の研究報告をもとに、種目ごとに1
種を選定すること。また、中学校において、道徳科を除いた種目を、4年間の使用
実績を踏まえつつ、平成27年度、採択地区協議会に置いた「専門委員」の研究報
告等をもとに、種目ごとに1種を選定すること。
その際、各教科用図書の特徴を踏まえるとともに、各地域の願いや思い、児童生
徒の実態等を考慮するなど、最終的な選定理由を明確にした選定にすること。
- オ 採択地区内にある市町村教育委員会は、採択地区協議会において選定した教科用
図書と同一の教科用図書を採択すること。

そこで、本地区では、北諸県採択地区協議会及び専門委員会を設け、県の示す「採択の基準」の小学校ア～ウに従うとともに、基準エについて本地区の課題を踏まえた基準を新たに2つ設定した上で、42名の専門委員に小学校用教科用図書の研究を行わせ、採択地区協議会において、調査研究報告を精査し、令和2年度使用小学校用教科用図書の選定を行った。

中学校の「特別の教科 道徳」を除いた種目においては、4年間の使用実績を踏まえつつ、平成27年度採択地区協議会に置いた「専門委員」の研究報告をもとに、種目ごとの選定を行った。

北諸県採択地区協議会の選定結果をもとに、都城市教育委員会にて協議し、採択を行った。

1 令和2年度使用教科用図書 都城市教育委員会 採択結果

<小学校用>

No.	種 目	書 名	発 行 者	現 採 用 教科用図書
1	国 語	国 語	光 村 図 書 出 版	東京書籍
2	書 写	新 し い 書 写	東 京 書 籍	同左
3	社 会	小 学 社 会	日 本 文 教 出 版	同左
4	地 図	楽しく学ぶ 小学生の地図帳	帝 国 書 院	東京書籍
5	算 数	わ く わ く 算 数	新 興 出 版 社 啓 林 館	同左
6	理 科	わ く わ く 理 科	新 興 出 版 社 啓 林 館	同左
7	生 活	新 し い 生 活	東 京 書 籍	同左
8	音 楽	小 学 生 の 音 楽	教 育 芸 術 社	教育出版
9	図画工作	図 画 工 作	開 隆 堂 出 版	同左
10	家 庭	小学校 わたしたちの家庭科	開 隆 堂 出 版	同左
11	保 健	み ん な の 保 健	学 研 教 育 み ら い	同左
12	道 徳	きみが いちばん ひかるとき	光 村 図 書 出 版	同左
13	外 国 語	NEW HORIZON Elementary	東 京 書 籍	なし

<中学校用>

No.	種 目	書 名	発 行 者	現 採 用 教科用図書
1	国 語	新 編 新 し い 国 語	東 京 書 籍	同左
2	書 写	現 代 の 書 写	三 省 堂	同左
3	社会(地理)	新 編 新 し い 社 会 地 理	東 京 書 籍	同左
4	社会(歴史)	新 編 新 し い 社 会 歴 史	東 京 書 籍	同左
5	社会(公民)	新 編 新 し い 社 会 公 民	東 京 書 籍	同左
6	地 図	中 学 校 社 会 科 地 図	帝 国 書 院	同左
7	数 学	未来へひろがる数学 未来へひろがる数学 MathNaviブック	新 興 出 版 社 啓 林 館	同左
8	理 科	未来へひろがるサイエンス 未来へひろがるサイエンスマイノート	新 興 出 版 社 啓 林 館	同左
9	音楽(一般)	中学音楽 音楽のおくりもの	教 育 出 版	同左
10	音楽(器楽)	中学器楽 音楽のおくりもの	教 育 出 版	同左
11	美 術	美 術	日 本 文 教 出 版	同左
12	保健体育	新・中学保健体育	学 研 教 育 み ら い	同左
13	技 術	新 編 新 し い 技 術・家 庭 技術分野 未来を創る Technology	東 京 書 籍	同左
14	家 庭	新 編 新 し い 技 術・家 庭 家 庭 分 野 自立と共生を目指して	東 京 書 籍	同左
15	英 語	SUNSHINE ENGLISH COURSE	開 隆 堂 出 版	同左

2 教科用図書 採択理由

(1) 小学校用教科用図書

次ページ以降に記載。

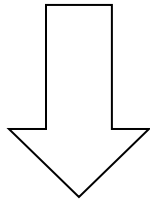
(2) 中学校用教科用図書

平成27年度採択における調査研究の内容を活用するとともに、中学校の各教科部会に依頼し、現在使用している教科書についての意見を集約した。その結果、現在使用している全ての教科書について、どの教科も本地区の生徒の実態や課題に合ったものであると報告があった。また、保護者等から教科書の変更を希望する意見もないことから、本地区に適している教科書である。

国 語

【 現 採 択 】

東京書籍



【令和元年度採択】

光村図書出版

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 学校図書
- 3 教育出版
- 4 光村図書出版

【採択教科用図書の特徴】

- 1 「読むこと」と「書くこと」等、領域を関連させて構成したり、短い説明文の「練習」教材の学習後に長い説明文教材を配置したりすることで、身に付けた力を次の学習にいかして指導できる工夫が見られる。
- 2 巻末「ことばの宝箱」で「考えや気持ちを伝える言葉・学習に用いる言葉」を提示したり、「季節の言葉」を重点的に取り上げたりして語彙を広げている。
- 3 デジタルコンテンツを活用させることができるように、QRコードが単元内に掲載しており、教材に関連する資料や人物等を調べさせたり、映像によって理解を深めさせたりする工夫が見られる。

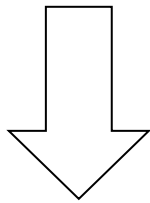
主 な 採 択 理 由

- 内容や心情を正確に読み取る力を身に付けるために、「読むこと」では学習課題を上下二段組で提示し、下段に思考や交流の具体的なポイントを示してあり、学校だけでなく、家庭でも復習できる。また、本文を学習する前に情景を説明する文章が掲載されており、児童が登場人物の心情を読み取る手助けとなる。
- 指導事項の系統性・関連性をもたせるために、巻頭に領域ごとの学習内容を示し、前学年の学びとのつながりを確認できるようにしている。また、巻末の「学習に用いる言葉」を本文教材と連動させ、反復しながら学習できるような工夫が見られる。

書 写

【 現 採 択 】

東京書籍



【令和元年度採択】

東京書籍

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 学校図書
- 3 教育出版
- 4 光村図書出版
- 5 日本文教出版

【採択教科用図書の特徴】

- 1 基本的事項を練習した後に国語科と連動させた言語活動「生活に広げよう」を配置することで、日常生活に生きて働く力を育成するような工夫が見られる。
- 2 身近な硬筆の文字から課題をつかませたり、自己評価だけでなく、友達との話合いで振り返りをさせたりする工夫が見られる。
- 3 学習事項がひと目で分かるインデックスや利き手を配慮した書き込み欄を設けることで、円滑な活動を推進するような工夫が見られる。

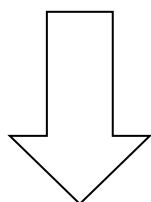
主 な 採 択 理 由

- 文字を正しく整えて書くことを意識させるために、学習のポイント「書写のかぎ」を使って、他の文字と関連させながら習熟させる「生かそう」を設定している。また、児童が繰り返し書く練習をできるようになっており、文字を正しく丁寧に書くことのよさが実感できる。
- 児童の主体的な学習を促すために、硬筆文字の観察や比較から課題を設定し、学習のポイントを示した「書写のかぎ」で書き方を考え、硬筆や毛筆の練習で技能を身に付けるという学習過程になっている。書き方の説明が詳しくなされるとともに、半紙とほぼ同じ大きさの手本が示されている。

社 会

【 現 採 択 】

日本文教出版



【令和元年度採択】

日本文教出版

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 教育出版
- 3 日本文教出版

【採択教科用図書の特徴】

- 1 毎時間の学習問題を示したり、「やってみよう」の欄で問題の解決へ向けた活動を具体的に例示したりするなどして、問題を解決しながら単元を進める展開の工夫が見られる。
- 2 「空間」「時間」「関係」の三つの視点で整理された「見方・考え方」のコーナーを提示することで、社会的事象の見方・考え方を働かせながら、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫が見られる。
- 3 例示を掲載して問題意識を焦点化し、見通しをもって学習が進められるようにしたり、「デジタルマーク」を活用して、学習を深めたりすることができる工夫がなされている。

主 な 採 択 理 由

- 自分との関わりや果たすべき役割を主体的に考えさせるために、「さらに考えたい問題」を設定して、学習内容を日常生活との関連で捉え直して考えることで、自分の考えをより深めることができるようになっている。
- 社会的事象を身近に感じさせるために、地域の実態に即して扱える資料があり、本県における畜産業や歴史上の人物に関する資料も多く用いられている。

地 図

【 現 採 択 】

東京書籍

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 帝国書院

【令和元年度採択】

帝国書院

【採択教科用図書の特徴】

- 1 イラストを豊富に用いた地図から詳しい情報と表現を用いた地図へと順に示すなど、発達の段階に配慮した工夫が見られる。
- 2 「地図マスターへの道」による学習への手がかりの提示やデジタルコンテンツによって地図活用の意欲を喚起したり、児童の思考を促したりして、主体的・対話的で深い学びを展開できるような工夫が見られる。
- 3 「果樹園」や「畑」等の土地利用が分かりやすいように地図記号を入れたり、文字の周りには白色系の縁を付けたりと、読みやすさや見やすさを追求し、使いやすい工夫がなされている。

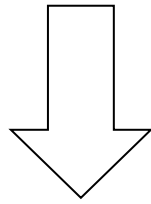
主 な 採 択 理 由

- 地図帳の見方や調べ方を身に付けさせるために、巻頭の「地図のやくそく・地図帳の使い方」で演習を行うことができる。また、「地図マスターへの道」コーナーを設置し、児童が主体的に活用できるようになっている。都道府県の紹介では、ページを追うごとに拡大した地図が示され、児童が興味をもちやすい構成になっている。
- 地図帳を日常的に使って指導するために、世界地図で主な国の挨拶や服装などを示したり、主な国の文化などを写真入りで紹介したりすることで、他教科にも活用することができるような工夫が見られる。

算 数

【 現 採 択 】

新興出版社啓林館



【令和元年度採択】

新興出版社啓林館

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 大日本図書
- 3 学校図書
- 4 教育出版
- 5 新興出版社啓林館
- 6 日本文教出版

【採択教科用図書の特徴】

- 1 「小数のかけ算・わり算」「割合」「割合のグラフ」のように、類似内容が複数の単元に分けられ、段階的に児童の理解を深めることができる構成・配列の工夫がされている。
- 2 めあてをほぼすべての時間に例示し、児童の主体的な考えや気づき（学びのめばえ）として強調して取り扱うなど、主体的・対話的で深い学びを展開することができるような工夫がされている。
- 3 全学年において単元のポイントとなる各所にQRコードを掲載し、学習の参考になる動画や補充問題等のコンテンツを授業や家庭学習で活用することができるように配慮されている。

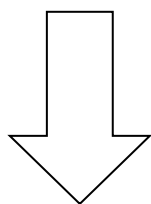
主 な 採 択 理 由

- 論理的に思考し、筋道を立てて説明する力を身に付けさせるために、めあてを全ての時間に例示し、めあてにつながる主体的な考えや見通し及び課題発見について、児童がわかりやすいように強調する工夫が見られる。また、数学的な思考力を育むのに適した構成になっている。
- 一単位時間における指導内容を明確化するために、「めあて」を例示するだけでなく、「めあて」につながる気づきを示すことで、児童や教師が学習の目的を捉えやすい。また、本地区の児童が苦手な単元について、導入場面で扱う教材がわかりやすい。

理 科

【 現 採 択 】

新興出版社啓林館



【令和元年度採択】

新興出版社啓林館

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 大日本図書
- 3 学校図書
- 4 教育出版
- 5 新興出版社啓林館

【採択教科用図書の特徴】

- 1 単元の導入では「思い出してみよう」を設定し、日常生活や既習内容を振り返ることができるようにするとともに、問題解決の各段階が視覚的に分かるようにフラッグで示し、それらを1本のラインでつなぐことで、児童が学習に見通しをもって取り組めるような工夫が見られる。
- 2 単元導入に「活動」「問題をつかもう」の段階を設定し、問題を見いだす過程を具体的に示している。
- 3 見開きで大きな写真や絵を提示し「考えてみよう」で問いを投げかけることで、児童の学習内容への興味・関心を高め、新たな気付きや疑問などが出るような工夫が見られる。

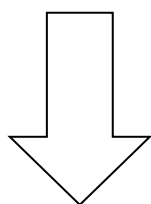
主 な 採 択 理 由

- 先行経験や生活体験と科学的思考を結びつけるために、「思い出してみよう」、「理科の広場」や「つなげよう」で、日常に関連する話題が提示されている。また、理科につながる仕事で活躍する人々のメッセージも紹介している。
- 児童の体験不足を補うために、写真や絵だけでなく、単元の導入でQRコードを使って資料を多く見ることができるので、学校だけでなく、家庭での活用も期待できる。また、UDフォントを使用しており、多くの児童にとって読みやすい。

生 活

【 現 採 択 】

東京書籍



【令和元年度採択】

東京書籍

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 大日本図書
- 3 学校図書
- 4 教育出版
- 5 光村図書出版
- 6 新興出版社啓林館
- 7 日本文教出版

【採択教科用図書の特徴】

- 1 上巻では自分と身近な「ひと」や「自然」との活動、下巻では自分と身近な「もの」や「地域」につながる活動で構成している。
- 2 気付きを促す吹き出しやイラストが多く、導入では興味を惹き付ける写真に加え、巻末にある「かつどうべんりてちょう」の関連ページを示し、主体的な活動が展開できるような工夫が見られる。
- 3 興味・関心を高めるという視点から、上巻巻末に、実物大の動植物を掲載した「ポケットずかん」が設けてあり、児童にとって分かりやすく、複数の植物の成長を比較できるように「パノラマページ」があるなどの学びを深める工夫が見られる。

主 な 採 択 理 由

- 生活上必要な習慣や技能を身に付けさせるために、「やくそく」欄で安全等に関わることが示され、多くのページに「てをあらおう うがいをしよう」が表記されている。学校のみならず、家庭での安全を啓発することにも活用できる。
- 対象に直接働きかける活動と表現する活動を関連させ、思考と表現を一体化させるために、子どもたち同士で伝え合う活動が数多く設定されている。また、同じ場所で季節によって異なる挿絵を利用するなど、構成にも工夫が見られる。

音 楽

【 現 採 択 】

教育出版

【送付見本本】

- 1 教育出版
- 2 教育芸術社

【令和元年度採択】

教育芸術社

【採択教科用図書の特徴】

- 1 音楽の基礎・基本となる精選された教材が系統的に配列されている。また、各教材や選択可能な教材が結び付けられており、学校のカリキュラムに応じることができるような工夫が見られる
- 2 全学年、学び方が順序立てて具体的に示されていたり、対話を通じた音楽づくりの教材が系統的に配置されていたりして、友達と楽しくかかわり合いながら活動していけるような工夫が見られる。
- 3 教科書は、全学年A B判であり、全学年軽量化が図られている。児童が楽曲のイメージを広げたり、分かりやすく学習を進めたりするために、見開きの鮮明な写真や実物とイラストを発達の段階に応じて適切に配置されている。

主 な 採 択 理 由

- 曲や演奏のよさを見出し鑑賞させるために、聴くねらい、楽曲の構成や解説などが提示され、児童が聴く視点をもつことができる。
- 指導の一貫性や継続性を図るために、題材構成を学習指導要領の教科の内容をもとにした4つの視点で整理している。専科教員以外の先生にとっても、手立てが細かく示されている。また、宮崎県の「刈り干し切り唄」が半ページにわたり、取り上げられている。

図画工作

【 現 採 択 】

開隆堂出版

【送付見本本】

- 1 開隆堂出版
- 2 日本文教出版

【令和元年度採択】

開隆堂出版

【採択教科用図書の特徴】

- 1 6年間の系統を意識した題材が簡単なものから複雑なものへと各学年の発達の段階に応じた構成・配列の工夫が見られる。また、季節・行事に配慮した題材の配列がなされており、一つの題材で身近な材料や身体を使って活動している実践例が示されている。
- 2 製作のポイントや製作過程を段階的に分かりやすく示し、児童が主体的に造形活動に取り組めるよう工夫されている。また、共同でつくる題材の設定や鑑賞活動の特設等を通し、発想や活動が深まるよう工夫されている。
- 3 教科書のページ数を前回より増やし、多様な作品に触れられるようにしながらも、写真や図の重なりを減らし、情報を精選する等掲載の仕方を考慮している。

主 な 採 択 理 由

- 発想、構想する能力を育成するために、教科書に掲載された作品以外の優れた参考作品例を児童が見ることができるように、QRコードを掲載している。
- 創造することの喜びを感じ取るために、体全体で材料とかかわる内容や地域や学校の実態に合わせた選択可能な内容及びICTやデジタルデータを活用して表現する内容等が設定されている。また、コンピュータを使ったプログラミング教育に関する事例が取り上げられるとともに、コンピュータを使わなくても、ビー玉の転がり方を試してコースを修正する活動が設定されている。

家 庭

【 現 採 択 】

開隆堂出版

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 開隆堂出版

【令和元年度採択】

開隆堂出版

【採択教科用図書の特徴】

- 1 基礎的・基本的な内容から応用・発展的な内容へと、系統的に展開されるようにしている。さらに、卒業前には、2年間の学習を振り返るとともに、中学校での学習に生かそうとする意識を高める構成・配列の工夫が見られる。
- 2 生活をよりよくしようとする実践的な態度を養うために、課題解決のステップや取組の例を示した「レッツトライ 生活の課題と実践」が設定され、学びを人生や社会に生かせるような工夫が見られる。
- 3 作業を安全に進めるための特設コーナーや、「安全」マークとチェック欄の設定により、児童が安全や環境、防災について意識して活動できるようになっている。調理や製作中に活用でき、折り込みページや裏表紙によって効果的に学習を進めることができるように工夫されている。

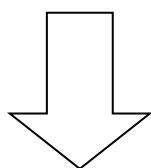
主 な 採 択 理 由

- 家庭や地域の人々との関わりを考え、学んだことを生活に生かせるようにするために、家庭や地域、学校での実践例を課題解決のためのステップごとに掲載し、選んで実践できるような工夫が見られる。また、QRコードが掲載されており、玉結び等の技能の習得に役立つ動画コンテンツが充実している。
- 児童の実態等に配慮するために、消費者教育に関する内容では、よりよい買い物のために必要な情報や判断すべきことを考えさせるような工夫が見られる。さらに、買い物の仕方と買う際に工夫することを学び、消費者としての実践的態度が身に付けられるように工夫されている。

保 健

【 現 採 択 】

学研教育みらい



【令和元年度採択】

学研教育みらい

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 大日本図書
- 3 文教社
- 4 光文書院
- 5 学研教育みらい

【採択教科用図書の特徴】

- 1 学習指導要領に即した系統的かつ問題解決的な単元の配列及び構成となっており、「考える・調べる」「まとめる・深める」活動、「動画や関連サイトの掲載」等により、児童の身近な生活と関連付け、主体的・対話的で深い学びを通して、生涯にわたり心身の健康の保持増進に必要な資質・能力を育成する工夫がなされている。
- 2 「知識」や「技能」を習得するため、1単位時間や各章のまとめに振り返りを設けたり、けがの手当のポイントを朱書きし、イラストや動画で確認したりするなど、学習の定着や実践化を促している。
- 3 系統性や学習内容の関連性を見やすい位置に示したり、科学的な資料や実験結果を掲載したりすることで、学習のつながりや学んだことを視覚的・科学的に捉えることができるつくりとなっている。

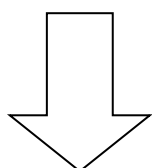
主 な 採 択 理 由

- 健康についての自己の課題を見つけ、主体的に課題解決に取り組ませるために、各章のとびらでは、生活から生じる疑問の例を示し、関心を高める工夫が見られる。導入時の「つかむ」では、実験・体験的な活動や自己の体験の振り返りから学習課題を設定する構成になっている。
- 知識や技能を活用する学習活動を充実させるために、1単位時間の「まとめる・深める」や各章のまとめにおいて、どの程度理解したかを振り返り、生活との関連を考える活動が設定されている。また、「もっと知りたい・調べたい」において、知識・技能を活用するための関連資料が豊富である。

道 徳

【 現 採 択 】

光村図書出版



【令和元年度採択】

光村図書出版

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 学校図書
- 3 教育出版
- 4 光村図書出版
- 5 日本文教出版
- 6 光文書院
- 7 学研教育みらい
- 8 廣済堂あかつき

【採択教科用図書の特徴】

- 1 いじめ問題や環境、国際理解、情報教育、福祉・共生などに関する教材を連続して複数配置し、社会情勢や日常生活との関連を図ることで、児童が実感的に学べるような工夫が見られる。
- 2 問題解決的な学習や考えを深める体験的な学習を意識した教材を用いるなど、身近な設定で判断に迷う場面を取り上げたり、役割演技を全学年に位置付けたりすることで、主体的に自分との関わりで考えさせることができるような工夫が見られる。
- 3 キャラクターによって教材冒頭部分で学びに見通しをもたせる問いかけをし、終末部分で発展的な学習へつなぐ呼びかけをすることで、児童の円滑な思考や日常生活の振り返りに結びつくような工夫が見られる。

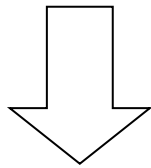
主 な 採 択 理 由

- 主体的に自分との関わりで考えさせるために、教材末に学習の手引き「考えよう・話し合おう」を設け、児童が互いの考えを大切にしながら、伝え合い、議論し、自分の考えを深めることができる。
- 各学校の実態に応じた構成、配列に対応するために、題材と日常生活にある課題を扱ったコラムを組み合わせた「ユニット」を設けたり、児童が偉人の生き方に触れる資料が取り上げられたりしている。QRコードが掲載され、補助資料として活用することができる。

外国語

【現採択】

なし



【令和元年度採択】

東京書籍

【送付見本本】

- 1 東京書籍
- 2 開隆堂
- 3 学校図書
- 4 三省堂
- 5 教育出版
- 6 光村図書出版
- 7 新興出版社啓林館

【採択教科用図書の特徴】

- 1 具体的なテーマを設定した「Small Talk」を位置付け、既習表現を繰り返し活用できるようにし、「Over the Horizon」で世界に視野を広げるなど、各単元の目標を達成できるような工夫が見られる。
- 2 単元末の「Enjoy Communication」と、複数の単元ごとにまとめとして「Check Your Steps」などを設定して、既習の学習内容を活用しながら、段階的に自己表現をすることで、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」を育成できるような工夫が見られる。
- 3 巻末には単元ごとに「読む」「書く」内容を整理した「Let's Read and Write」を設定し、別冊「Picture Dictionary」には2学年でできるようになることを示した「CAN-DOリスト」、中学校での辞書の活用を視野に入れた「さくいん」等を掲載し、児童にとって分かりやすくなるような工夫がなされている。

主な採択理由

- 日常生活において、英語を使って積極的にコミュニケーションを図る児童を育成するために、「Let's Listen」で聞くことに慣れ、「Let's Try」で実際に使い、単元末の「Enjoy Communication」では、まとめとして伝え合う活動を行い、相手意識をもって会話ができるような工夫が見られる。
- 児童の実態に応じるために、授業における一斉・個別指導で英語の音声、歌などを聞くために、多様なQRコードが掲載されており、音声練習の手助けとなる。家庭学習の際に活用しやすいサイズや重さである。